

京都市右京ふれあい文化会館開館20周年記念事業

京の三大念佛狂言

壬生・嵯峨・千本ゑんま堂

壬生大念佛狂言
演目『賽の河原』

中京区・壬生大念佛講
国指定重要無形民俗文化財

嵯峨大念佛狂言
演目『釈迦如来』

右京区・嵯峨大念佛狂言保存会
国指定重要無形民俗文化財

千本ゑんま堂大念佛狂言
演目『花盗人』

上京区・千本ゑんま堂大念佛狂言保存会
京都市登録無形民俗文化財

講演「京の念佛狂言」(仮題) 八木 透 (佛教大学歴史学部歴史文化学科教授)

令和3年(2021年)

6.20 日 午後1時開演
午後0時30分開場 / 午後4時20分終演(予定)

入場料 1,000円(自由席)

定員 196名

4月3日(土)午前10時
発売開始

京都市右京ふれあい文化会館 ホール
〒616-8065 京都市右京区太秦安井西裏町11番地6 TEL:075(822)3349
URL: <https://www.kyoto-ongeibun.jp/ukyo/>

チケットのお問い合わせ・お買い求め

| | | |
|---------------|--------------|---------------------------------------|
| 京都市右京ふれあい文化会館 | 075(822)3349 | 9:00 ~ 17:00 / 火曜日休館(休日の場合は翌平日) |
| 京都コンサートホール | 075(711)3231 | 10:00 ~ 17:00 / 第1・第3月曜日休館(休日の場合は翌平日) |
| ロームシアター京都 | 075(746)3201 | 10:00 ~ 19:00 / 年中無休(臨時休館日を除く) |

0才から入場可。3才以上は要チケット。※3才未満はひざの上で1名まで入場無料。ただし、座席が必要な場合はチケットが必要。

3月19日(金)より「京の三大念佛狂言パネル展」開催!
京都市右京ふれあい文化会館のロビーにて開催。公演と併せて是非ご覧ください!

観覧無料
開館時間 9:00 ~ 17:00 火曜日休館 / 休日の場合は翌平日

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、お客様には安心して公演を楽しんでいただけるよう対応いたします。
また定員(196名)は、今後の新型コロナウイルスの感染状況により変更する場合があります。



京の三大念佛狂言

～壬生・嵯峨・千本ゑんま堂～



大念佛狂言とは

平安後期の天台僧、聖応大師良忍が開いた融通大念佛の信仰は、ひとりの念仏往生が多くの人々の念仏往生を約束するというもので、鎌倉時代から室町時代に庶民の間に広まった。その布教の拠点には嵯峨清涼寺や壬生寺、千本ゑんま堂といった民衆の寄りあい場のような寺院であった。融通念仏を实践する「大念佛会」にやがて狂言がともなうようになって発展してきた民俗芸能が今日の大念佛狂言である。壬生寺、千本ゑんま堂（引接寺）、嵯峨釈迦堂（清涼寺）に伝わる大念佛狂言を京都三大念佛狂言といい、壬生の分流とされる「神泉苑大念佛狂言」を加えて四大念佛狂言とされる。

壬生大念佛狂言 国指定重要無形民俗文化財 昭和51年(1976)指定<http://www.mibudera.com/kyougen.htm>

壬生大念佛狂言は、古来より「壬生さんのカンデンデン」の愛称で京の庶民大衆から親しまれてきた。創始は壬生寺を興隆した円覚上人により、正安二年(1300)、「大念佛会」を行った際、仏の教えを大勢の群衆にわかりやすい方法で説くため考えついたのがパントマイム(無言劇)に仕組んだ持齋融通念佛であった。近世に入ると大衆娯楽としても発展し、能や物語から取材され、曲目やその数も変遷して、現在上演されているもので三十曲ある。しかし一般の能狂言とは異なり、かね・太鼓・笛の囃子に合わせすべての演者が仮面をつけ、せりふを用いず無言で演じられる形は古来より変わっていない。

嵯峨大念佛狂言 国指定重要無形民俗文化財 昭和61年(1986)指定<http://www.sagakyogen.info/>

嵯峨大念佛狂言は円覚上人が大念仏として始めたものであり、釈迦堂の大念仏は弘安二年(1279)の始行と伝えられ、応永年間(1414年頃)にはすでに恒例化していたことが知られるが、この大念仏に狂言がともなうようになった確実な時期については分かっていない。保存されている女系面の刻銘から、天文十八年(1549)には大念仏に狂言がともなっていたと考えられるが、確実な資料から嵯峨大念佛狂言が定例行事として充実していくのは、近世(およそ1638年頃)と考えられている。

千本ゑんま堂大念佛狂言 京都市登録無形民俗文化財 昭和58年(1983)登録<http://enmadokyogen.info/index.html>

千本ゑんま堂大念佛狂言の創始については詳細不明であるが、平安後期の天台僧、定覚上人が布教のため大念佛法会を始めたのがその起源と伝えられ、「ゑんまどうの狂言はだ一れが先は一じめた、でっかい坊主が一じめた。」とわらべ唄のなかでも紹介されている。その後一時中断するが、鎌倉時代十三世紀の文永年間に、如輪上人が再興し、室町時代には隆盛を極め、その後多くの変革を経て今日に伝えられてきた。お、千本ゑんま堂の狂言のみ壬生大念佛狂言、嵯峨大念佛狂言とは異なり、せりふが伝えられている。

講師プロフィール

八木 透 Toru Yagi

1955年(昭和30年)京都市生まれ。生粋の京都人。同志社大学文学部卒業。佛敎大学大学院博士後期課程修了。文学博士。現在、佛敎大学歴史学部教授。専門は民俗学。世界鬼学会会長、日本民俗学会元理事、京都民俗学会理事・事務局長、祇園祭綾傘鉾保存会理事、京都府および京都市文化財保護審議委員ほか多数歴任。毎年、祇園祭山鉾巡行および五山送り火には実況解説役としてテレビ出演している。



お問い合わせ

京都市右京ふれあい文化会館

京都市右京区太秦安井西裏町 11 番地 6

TEL:075(822)3349 <https://www.kyoto-ongeibun.jp/ukyo/>

アクセス

JR山陰本線嵯峨野線 「花園駅」下車 南へ徒歩約5分

京都市営地下鉄東西線 「太秦天神川駅」下車 ①番出口から北へ徒歩約10分

市バス 27号系統・特27号系統「右京ふれあい文化会館前」下車
91号系統・93号系統「花園駅前」下車

8号系統・特8号系統・75号系統・特93系統「黒橋」下車

京福電鉄嵐山線 「嵐電天神川駅」下車 北へ徒歩約12分

